



豊里

「やねだん」から地域再生学ぶ 10月18日

豊里コミュニティ推進協議会(阿部洋一会長)は、地域づくり講演会を豊里公民館で開催しました。
鹿児島県柳谷集落(通称やねだん)を地域再生に導いた豊重哲郎さんを講師に招き、「感動と感謝のまちづくり」という演題で講演。やねだんでは「行政に頼らない村おこし」を掲げ、休耕地を利用したサツマイモの栽培などで地域再生した話や、「地域の人たちを引き出すには感動を与えること」と語り、その取り組みが紹介されました。

地域力、備えあれば憂いなし 10月17日

県防災キャンプ推進事業「西野地区水の里防災訓練」は米岡小学校で開催され、児童や教諭、地域住民など約600人が参加しました。
訓練は震度5強の地震が発生したことを想定し、避難所設営訓練や自衛隊の協力による野営テント設営体験などを行いました。また、「昔の水害についてのお話」と題したパネルディスカッションでは、パネラーの体験談から「水害の町米山」の歴史をあらためて知ることとなりました。



米山



迫

東京迫会の30周年記念総会 11月1日

東京迫会(横川祐喜会長)は、創立30周年記念総会を東京都中野区の中野サンプラザで開催しました。
懇親会では、歌謡ショーやカラオケなどが行われ、大いに盛り上がりました。参加者は、各テーブルでふるさとの思い出話に花を咲かせたり、互いの近況を語り合ったりなど、終始和やかな雰囲気でお睦を深めました。
今年の7月には、30周年記念事業として「ふるさと訪問ツアー」を実施。佐沼夏祭りなどを堪能しました。



石越

まるごといしこしまつり開催 11月1日

まるごといしこしまつりは、石越総合運動公園や石越体育センターなどで開催され、地区住民など約2千人が秋の祭りを楽しみました。
屋内ステージでは、石越小・中学校吹奏楽部の演奏や神楽、民謡などが披露。屋外では、登米産牛肉の串焼き販売や無料の芋煮鍋が振る舞われました。
祭りの最後にはお楽しみ抽選会が行われ、当選するたびに盛り上がりを見せ、充実した秋の祭典となりました。

安心・安全マップをつくろう 10月28～29日

登米小学校5年生41人が地域防災マップづくりに取り組みました。
児童らは、災害の種類や過去の登米地域で発生した災害の被害状況をスライドやタブレットを使用し確認。グループごとに分かれて小学校周辺を歩き、災害時に危険な場所や役立つものなどを自分たちの目で確認し、地図にまとめました。完成した防災マップは校内に掲示し、他の学年の児童や来校した人への防災啓発に役立ちます。



登米

老若男女、世代を超えて交流 10月3日

青少年のための登米市民会議南方支部(永倉美希子会長)は、南方農村環境改善センターで世代間交流事業「作って遊ぼう」を開催しました。
南方地区の子どもからお年寄りまでが参加し、竹トンボや手袋での指人形づくりなどで交流。初めて体験するものづくりに、子どもたちは夢中になっていました。会場では「どん菓子」も作られ、「ド～」と響きわたる大きな音に、子どもたちは飛び跳ねてビックリしていました。



南方



東和

恒例の祭りに2500人来場 10月31日

東和の秋まつりが東和総合支所特設会場で開催されました。
小中学校の合奏や文化協会の発表、「さかえ里美」特別ショー、「郷友連合とめつきゆう」によるよさこい乱舞が披露され、大いに盛り上がりました。総合支所1階では、小中学校と文化協会の作品展示や、囲碁体験などが催され、来場した皆さんは、多くの素晴らしい作品をじっくりと鑑賞していました。



津山

雨にも負けない白熱した戦い 10月11日

第11回津山地区運動会が津山運動広場で開催されました。
当日は、地区住民のほか南三陸町仮設住宅の皆さんもチームで参加し、8種目の競技で熱戦を繰り広げました。時折小雨の降る中での開催となりましたが、選手の皆さんが雨を吹き飛ばすくらいの白熱した戦いを見せると、応援席から大きな声援と拍手が送られました。
競技の結果、石貝行政区が見事2連覇を達成しました。

東北に伝わる伝統芸能を披露 10月10日

第9回登米市民文化祭に、伝統芸能子供教室に通う市内の小学生など15人が出演しました。
この教室は「子どもに、東北に伝わる伝統芸能を体験させたい」と、熊谷流の熊谷多香踊さん(上沼)が開きました。文化祭では岩手県の伝統舞踊「さんさ踊り」を披露。子どもたちは本番直前まで緊張していましたが、舞台の上では堂々とした舞を踊りました。踊りを終えた子どもたちは、「もっと踊りたかった」「楽しかった」と話していました。



中田